

**令和7年 12 月議会**  
**経済振興委員会 報告資料**

**Jブルークレジット制度を活用した  
藻場保全・創出の推進について**

**令和7年 12 月**  
**港湾空港局**

# Jブルークレジット制度を活用した藻場保全・創出の推進について

## 1 報告の趣旨

多様な主体と連携した藻場の保全・創出の更なる推進を図るために、国の認可機関※が運営する「Jブルークレジット制度」に参画し、「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」について廃止するもの。

※国の認可機関：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合(JBE)

## 2 博多湾の藻場を取り巻く状況

本市は、豊かな博多湾の環境を未来に引き継いでいくことを目的として、平成30年5月に「博多湾NEXT会議※」を設立し、多様な主体と連携・共働して博多湾の環境保全創造に取り組んでいるが、近年の夏季高水温等の影響により、博多湾の藻場は減少傾向にある。

このような状況の中、本市は令和7年9月に「博多湾環境保全計画(第三次)」を策定し、博多湾の藻場面積の「現状維持」を目標として、多様な主体と連携・共働して、藻場の保全・再生等に取り組むこととしている。

※博多湾 NEXT 会議(会員数:66 団体、28個人(令和7年 11 月現在))

市民、市民団体、漁業者、企業、学校などの多様な主体が連携・共働し、博多湾の環境保全に取り組む協議体。福岡市が事務局を務めている。

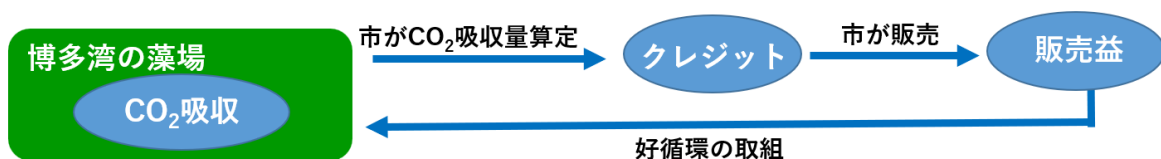
## 3 ブルーカーボン・クレジット制度

藻場(海草・海藻)など、沿岸・海洋生態系が吸収・貯留する炭素(ブルーカーボン)をCO<sub>2</sub> 量に換算し、取引可能なクレジットとする制度で、クレジットの販売益を藻場の保全等に活用することで好循環を図るもの。

### (1) 福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度

本市が令和2年10月に創設した独自の制度で、博多湾の藻場による CO<sub>2</sub> 吸収量を市が算定し、クレジット化して販売するもの。

<参考> 福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度のイメージ図

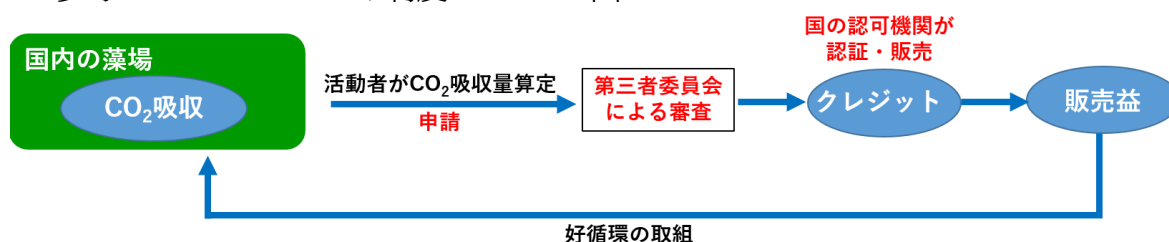


## (2) Jブルークレジット制度

国の認可機関が創設し、令和3年3月から取引が開始された制度で、国内の藻場等による CO<sub>2</sub> 吸収量を活動者が算定し、第三者委員会による審査を経て、国の認可機関が認証し、クレジット化して販売するもの。

本制度は、様々な団体の活動の成果について、国の認可機関が認証を与える仕組みとなっている。

<参考>Jブルークレジット制度のイメージ図



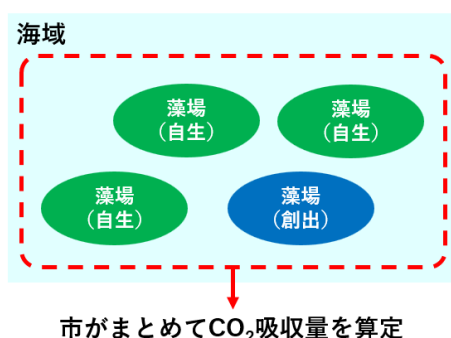
## (3) 各制度における CO<sub>2</sub> 吸収量の算定

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度では、「自生する藻場」と「活動で創出した藻場」を区別せず、博多湾の藻場として CO<sub>2</sub> 吸収量を算定するため、藻場の現況把握には寄与するが、活動による藻場の創出量は「見える化」されない。

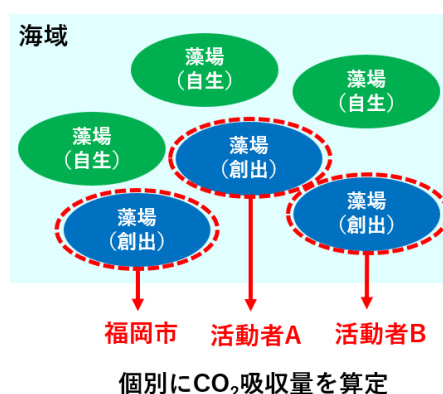
一方、Jブルークレジット制度では、「活動で創出した藻場」の CO<sub>2</sub> 吸収量を活動者ごとに算定する。「自生する藻場」が算定の対象から外れるため、販売できるクレジットの量は減少※するが、各活動者による藻場の創出量が「見える化」される。

<参考>CO<sub>2</sub> 吸収量の算定方法に係るイメージ図

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度



Jブルークレジット制度



※Jブルークレジット制度では、「活動で創出した藻場」の CO<sub>2</sub> 吸収量だけでクレジット量を確保する。  
単年度で十分なクレジット量が確保できない場合、最大5年分まで合算して申請が認められている。

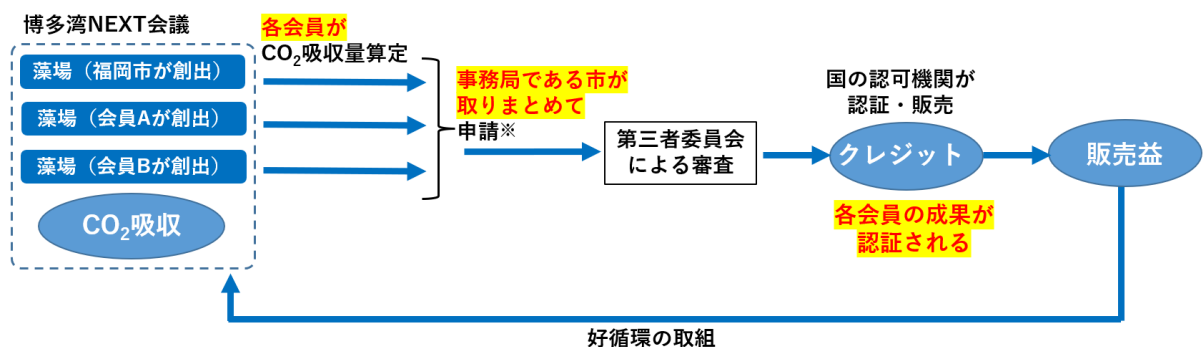
#### 4 Jブルークレジット制度を活用した藻場保全・創出の推進

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度は、本市が国に先行して藻場の CO<sub>2</sub> 吸収量のクレジット化に取り組んだもので、本市の脱炭素の取り組みの認知度向上に寄与してきた。また、販売益を「博多湾NEXT会議」でのアマモ場づくり活動をはじめとした博多湾の環境保全創造の取組みに活用することで、好循環を図ってきた。しかしながら、博多湾の藻場が減少傾向にある中で、今後は藻場の保全に加え、より多くの藻場の創出に主眼を置いた取組みが必要となっている。

Jブルークレジット制度は、藻場の創出の成果を可視化し、認証を与えることで、活動者への動機づけを図る仕組みとなっており、「博多湾NEXT会議」の会員からも、本制度への参画に係る問い合わせや意見が寄せられている。このため、藻場の創出を推進するためには、本制度の活用が有効であると考えられる。

これらの現状を踏まえ、多様な主体と連携した藻場の保全・創出の更なる推進を目的として、Jブルークレジット制度に参画するもの。

<参考> 福岡市がJブルークレジット制度に参画する場合のイメージ図



※ 会員単独では販売できるクレジット量を確保することが困難になることが想定されるため、「博多湾 NEXT 会議」の事務局として、福岡市が会員の創出したクレジットを取りまとめた上で、Jブルークレジット制度に参画する。

#### 5 今後のスケジュール

令和8年度中に会員の成果を取りまとめたJブルークレジット制度に申請し、クレジット認証を得て、最短で令和9年度から販売を開始する。

なお、Jブルークレジットへの参画に伴い、福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度については、令和8年度のクレジット販売をもって廃止する。